

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成28度2回)議事概要

開催日時及び場所	平成28年9月15日(木)15時～17時 沖縄総合事務局 2階 共用会議室C	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・当山尚幸(委員長:弁護士) ・崎山律子(フリージャーナリスト) ・名嘉座元一(沖縄国際大学経済学部教授) ・宮城千春(公認会計士) 	
審議対象期間	平成28年4月1日 ～ 平成28年6月30日	
項目	抽出案件	備考
総件数	114 件	
工事	7	
① 一般競争入札方式(政府調達)	0	
② 一般競争入札方式	7	
③ 工事希望型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 随意契約	0	
建設コンサルタント業務等	25	
① 一般競争入札方式	6	
② 公募型競争入札方式	0	
③ 簡易公募型競争入札方式	4	
④ 指名競争入札	8	
⑤ 公募型プロポーザル方式	0	
⑥ 簡易公募型プロポーザル方式	6	
⑦ 標準プロポーザル方式	0	
⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑨ 随意契約	1	
役務の提供等及び物品の製造等	82	
① 一般競争入札方式	44	
② 指名競争入札	0	
③ 企画競争方式	7	
④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	9	
⑤ 随意契約	22	
議事 1. 指名停止等の運用状況について 2. 平成28年4月～6月における公共工事等の発注状況について 3. 抽出事案の審議について		
委員の意見・質問等	回答	
1. 工事 ○ 平成28年度宮古伊良部農業水利事業 仲地副貯水池3号集水路(魚口その2)工事 [<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 一般競争入札 (総合評価落札方式) ・ 業種区分 農林土木工事 ・ 競争参加資格 12 を確認した者 の数 ・ 入札者数 8 ・ 契約締結日 平成28年6月30日 ・ 契約の相手方 株式会社佐平建設 ・ 契約金額 113,400千円] ・ 契約相手方の企業評価が9点と高いが、企業評価はどのように決まるのか。	・ 企業評価は地域貢献度、工事実績、地域精通、災害協定等がある。また技術者評価として、経験年数、資格、継続教育(資格を一度取っただけでなく、その後も継続教育に認定されているプログラムや講習を継続的に受けているか)等もあり、その合計点数で決まる。	

<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業評価、技術者評価それぞれ何点か。各項目で配点があるのか。 ・ 入札方式が簡易Ⅱ型で価格重視に見えるが、2番目に金額の高い業者が落札しているのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業評価、技術者評価合わせた満点が30点。各項目配点があり、1点のものや2点のものがあり、項目によって違っている。 ・ 総合評価落札方式簡易Ⅱ型は価格重視ではあるが、企業評価、技術者評価も行っており、その両方を加味して落札者を決めている。
--	--

委員の意見・質問等	回答
-----------	----

<p>2. 建設コンサルタント等業務</p> <p>○ 平成28年度伊江農業水利事業土地改良施設整理台帳付属図面作成業務</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 簡易公募型競争入札 ・ 業種区分 測量調査 ・ 競争参加資格 5 を確認した者の数 ・ 入札者数 5 ・ 契約締結日 平成28年6月15日 ・ 契約の相手方 株式会社久栄総合コンサル タンツ ・ 契約金額 24,624千円 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料の中に紙入札と1者だけ記載されているがなぜか。 ・ 予定価格が4,200万円程度(税抜)に対して落札価格が2,280万円程度(税抜)だが、予定価格は適切なのか。あまりに低入札だった場合に落札をしないということはないのか。 ・ 工事期間中や工事終了後に労務者の勤務状況等は確認するのか。また、今回の落札価格を次回の同様の業務の予定価格を作成する際にフィードバックはするのか。 ・ 契約相手方は選定結果表の評価の順位は5者中3位で高くないが、今回は価格で決定しているのか。(落札者は入札金額が一番低い) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子システムを使った入札ではなく、直接紙媒体で入札書を持参して行う紙入札方式をこの1者は選択している。事業者は電子入札でも紙入札でもどちらを選択してもよいことになっている。 ・ 入札後に施工体制をヒアリングしており、その結果問題がなかったため落札者を決定している。ヒアリングの中で経営内容、財務諸表等も確認し、施行可能と判断したうえで落札者として決定した。 ・ 業務の始め、途中、終わりに打合せ等行い、進捗状況等を管理し、適切に行われているかは確認している。積算の基準、業務の歩掛り、技術者の単価は全国统一基準のものがあり、そちらを使用している。全国ベースで調査を行ったうえで、毎年度定めている。(地区ごと、沖縄総合事務局単位では定めていない) ・ 今回は簡易公募型競争入札方式であり、応募者が10者以上あった場合に、その10者を選定するために評価を行い、点数を付けている。10者以内に選定された後は、評価の点数は関係なく、価格のみの競争で落札者を決定している。
---	--

委員の意見・質問等	回答
-----------	----

<p>3. 役務の提供等及び物品の製造等</p> <p>○ 平成28年度広報誌「群星」の印刷製本</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 一般競争入札方式 (最低価格落札方式) ・ 業種区分 物品の製造 ・ 競争参加資格 35 を確認した者の数 ・ 入札者数 35 ・ 契約締結日 平成28年4月1日 ・ 契約の相手方 有限会社中部電算フォーム ・ 契約金額 6,428千円 </div>	
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札した者は自分が何番目の順位だったか分かるのか。 ・ 予定価格は毎年変わるのか。どのように設定しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計課で入札結果を公表しているの、分かる。 ・ 予定価格は毎年、複数の業者から参考見積を取って算出しているの、毎年変わっている。
--	---

委員の意見・質問等	回答
-----------	----

<p>4. 役務の提供等及び物品の製造等</p> <p>○ 平成28年度ビジット・ジャパン地方連携事業「東南アジア市場誘客事業」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 一般競争入札方式 (総合評価落札方式) ・ 業種区分 役務の提供等 ・ 契約締結日 平成28年6月29日 ・ 契約の相手方 株式会社アドスタッフ博報堂 ・ 契約金額 9,605千円 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札者が3者で少ないようだが、特殊な業務なのか。 金額が一番高いところが落札者となっているのはなぜか。 ・ 予算を提示して、その範囲内で企画してもらいような入札方式で発注した方が良いのではないか。 ・ 落札者の見積を見ると人件費の割合が非常に高いように思われるがなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光関連の企画提案の場合、3、4者になることが多い。今回タイからインフルエンサーを招聘する業務なので、タイの現地事業に詳しいもの、それを情報発信するために動画等作成するなどの業務内容を踏まえると、誰でも出来るような業務ではないと考えられ、3、4者が通常だと思われる。 企画点で非常に差がついた結果である。ニーズを反映したインフルエンサーを招聘し、精度の高い画像を作成する所で価格に差が出るのが通常であり、落札者以外の2者はそのあたりでニーズを踏まえておらず、根拠に基づく適切な提案がされてなかったためである。 ・ 昨年までは企画競争という方式で予算を提示して、提案書を出してもらい、その提案内容で契約者を決定する方式を取っていた。しかし随意契約(企画競争)ではなく、一般競争で発注する契約方式に国の方針が変わっているため、企画だけでなく、価格の要素も踏まえた、一般競争(総合評価落札方式)へ移行している。 ・ タイの既存の旅行番組を使って、アピールするのではなく、新しい動画サイトを作成しより影響力のある精度の高いものを配信していくことを考えており、ロケ班等必要となってくるため、その分の手当等が出てくるため人件費は高くなっている。
---	---